

日医工MPS行政情報シリーズ

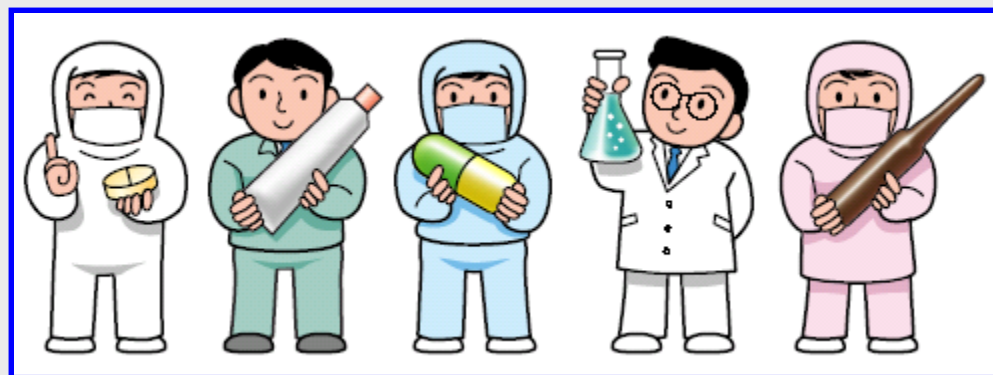
http://www.nichiiko.co.jp/mps/mps_m.html

「DPC関連病床数の分析」

第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会(平成18年12月6日)報告書より

資料作成:日医工株式会社 MPSチーム

(認定登録 医業経営コンサルタント登録番号第4217 菊地祐男)



資料No.181220-63



日医工株式会社

<http://www.nichiiko.co.jp>

都道府県別DPC関連病院の状況（病院数・病床数）

参考：平成18年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会（平成18年12月6日）

都道府県	総人口「A」	一般病床数「B」	DPC(関連)病院数			DPC(関連)病床数					都道府県	総人口「A」	一般病床数「B」	DPC(関連)病院数			DPC(関連)病床数				
			対象	準備	計	対象	準備	計「C」	病床割合「C/B」	対10万人「C/AX100」				対象	準備	計	対象	準備	計「C」	病床割合「C/B」	対10万人「C/AX100」
全国	127,768	904,199	360	371	731	177,703	114,022	291,725	32.3%	228.32	三重	1,867	11,516	6	6	12	2,518	2,238	4,756	41.3%	254.75
北海道	5,628	53,718	16	19	35	6,873	5,665	12,538	23.3%	222.79	滋賀	1,380	9,567	3	3	6	1,762	1,148	2,910	30.4%	210.81
青森	1,437	11,529	1	2	3	577	855	1,432	12.4%	99.68	京都	2,648	22,434	9	10	19	5,454	2,601	8,055	35.9%	304.23
岩手	1,385	12,020	4	1	5	2,257	299	2,556	21.3%	184.54	大阪	8,817	64,910	39	31	70	18,277	9,411	27,688	42.7%	314.02
宮城	2,360	17,079	9	6	15	4,374	2,048	6,422	37.6%	272.09	兵庫	5,591	37,789	16	16	32	6,037	4,432	10,469	27.7%	187.26
秋田	1,146	9,793	2	2	4	722	858	1,580	16.1%	137.93	奈良	1,421	10,295	3	5	8	1,414	1,227	2,641	25.7%	185.81
山形	1,216	9,615	2	4	6	1,032	1,883	2,915	30.3%	239.68	和歌山	1,036	8,822	3	2	5	1,364	573	1,937	22.0%	186.97
福島	2,091	17,299	5	4	9	2,264	1,483	3,747	21.7%	179.17	鳥取	607	5,386	1	2	3	647	791	1,438	26.7%	236.90
茨城	2,975	19,312	6	10	16	2,614	3,989	6,603	34.2%	221.94	島根	742	6,391	2	2	4	1,178	952	2,130	33.3%	286.98
栃木	2,017	12,529	4	5	9	3,303	1,394	4,697	37.5%	232.91	岡山	1,957	19,188	8	5	13	4,811	1,470	6,281	32.7%	320.91
群馬	2,024	14,820	9	3	12	3,217	685	3,902	26.3%	192.77	広島	2,877	21,341	6	15	21	2,882	4,747	7,629	35.7%	265.21
埼玉	7,054	33,865	13	12	25	6,308	4,014	10,322	30.5%	146.32	山口	1,493	11,486	3	4	7	1,690	1,142	2,832	24.7%	189.74
千葉	6,056	32,224	10	12	22	4,871	4,966	9,837	30.5%	162.42	徳島	810	6,437	4	1	5	1,756	359	2,115	32.9%	261.13
東京	12,577	83,437	31	32	63	20,305	10,571	30,876	37.0%	245.50	香川	1,012	10,015	4	6	10	1,808	1,123	2,931	29.3%	289.51
神奈川	8,792	47,905	25	24	49	12,859	7,212	20,071	41.9%	228.30	愛媛	1,468	12,502	2	3	5	860	984	1,844	14.7%	125.63
新潟	2,431	16,693	3	2	5	1,533	1,227	2,760	16.5%	113.51	高知	796	7,185	3	1	4	1,344	178	1,522	21.2%	191.14
富山	1,112	9,258	3	4	7	896	1,932	2,828	30.5%	254.38	福岡	5,050	41,502	20	24	44	10,476	5,971	16,447	39.6%	325.69
石川	1,174	10,662	5	8	13	2,766	1,386	4,152	38.9%	353.65	佐賀	866	6,022	5	3	8	1,791	342	2,133	35.4%	246.20
福井	822	6,669	2	3	5	983	510	1,493	22.4%	181.72	長崎	1,479	12,757	9	7	16	3,930	1,489	5,419	42.5%	366.49
山梨	885	6,415	3	3	6	922	641	1,563	24.4%	176.71	熊本	1,842	15,667	10	6	16	4,172	1,368	5,540	35.4%	300.72
長野	2,196	15,777	7	7	14	3,486	1,886	5,372	34.0%	244.61	大分	1,210	11,754	4	7	11	1,257	1,714	2,971	25.3%	245.62
岐阜	2,107	12,927	5	8	13	1,995	3,152	5,147	39.8%	244.25	宮崎	1,153	9,326	1	3	4	576	855	1,431	15.3%	124.11
静岡	3,792	22,333	7	10	17	3,803	3,549	7,352	32.9%	193.86	鹿児島	1,753	14,778	6	8	14	1,528	1,524	3,052	20.7%	174.08
愛知	7,255	41,638	16	10	26	10,427	3,861	14,288	34.3%	196.95	沖縄	1,362	9,612	5	10	15	1,784	3,317	5,101	53.1%	374.63

※1：2005年国勢調査第1次基本集計結果（全国結果）統計表06年10月31日公表

※2：医療施設（静態・動態）調査05年度10月1日

※3：様式3の8月データを使用

DPC対象病院の推移

2006年3月まで

旧名称	DPC対象病院		試行的適用病院			調査協力病院									合計			
施設数	82		62			228									372			
一般病床数	約7万床		約2.5万床			約9.4万床									約18.9万床			
内訳	2003年度～ 特定機能病院等		2004年度～			2003年度～			2004年度～			2005年度～						
	大学病院	ナショナル センター	国立	社保	民間等	国立	社保	民間等	国立	社保	民間等	国立	社保	民間等	特定 機能等	国立	社保	民間等
	80	2	8	25	29	1	9	10	9	4	112	4	2	77	82	22	40	228

2006年4月以降(～7月)

新名称	DPC対象病院			DPC準備病院	脱退
施設数	82	62	216	10	2
一般病床数	約7万床	約2.5万床	約9万床		
合計	360			375 (10 + 365)	
	17万8千床	約18.5万床		371 (2006年12月6日の報告書)	

DPC関連病院
731施設

2006年度のDPC関連病院は当初735施設と発表されていたが、12月6日の報告書ではDPC準備病院のデータが371施設分しかないため、4施設がさらに脱退し、現時点では731施設がDPC関連病院と推定される。

DPC対象病院の推移予測（日医工MPS）

2006年4月	2007年4月	2008年4月	2009年4月	2012年 (以降)
DPC対象病院	(DPC準備病院)	次のDPC参加病院	次々のDPC参加病院	(以降)
施設数：360 ①：約18.5万床 ②：514床 ③：29.9億円(推定)	施設数：375 合計：735 ①：29万1千床 ②：408床 ③：22.7億円	施設数：250 (推定) 合計：985 ①：約38.4万床 ②：390床 ③：20.9億円	施設数：215 (推定) 合計：1,200 ①：約45万床 ②：375床 ③：20.0億円	施設数： 1,200 (推定)
準備病院全てが 対象病院になると仮定		①：DPC対象病床数 ②：一施設平均病床数 ③：一施設平均薬剤費		
2006/12/6 公表資料より		推定(日医工MPS)		

病床再編が完了した時点(2012年以降)でのDPC対象病院は、45万床(1200施設)を維持していると仮定した。DPC病院は平均在院日数の短縮に伴ない、患者回転率が上がるため、2009年に比べて1施設あたりの薬剤費もアップしていると予想した。

①：約45万床
 ②：375床
 ③：23.0億円

DPC対象病院は1200施設まで増えると予測。その薬剤費は2012年あたりで全医薬品市場の約1/3がDPC対象病院で使用されていると推定した。ただしこれらのDPC施設は、他の医療機関や調剤薬局に対して大きな影響を及ぼすため、この時点で医薬品市場の大半(1/2~3/4)は、“DPC”の影響下にあるものと思われる。

「医療用医薬品市場予測」資料は日医工HPのMPS作成資料集(11/20)に掲載

都道府県別DPC関連病院の状況分析（病院数・病床数）

参考：平成18年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会（平成18年12月6日）

順位	都道府県	総人口 (千人) 「A」	一般 病床数 「B」	DPC関連病院数			DPC関連病床数			DPC関連病床割合 「C÷B」
				対象	準備	計	対象	準備	計「C」	
DPC関連病床割合 「C÷B」										
1	沖縄	1,362	9,612	5	10	15	1,784	3,317	5,101	53.1%
2	大阪	8,817	64,910	39	31	70	18,277	9,411	27,688	42.7%
3	長崎	1,479	12,757	9	7	16	3,930	1,489	5,419	42.5%
4	神奈川	8,792	47,905	25	24	49	12,859	7,212	20,071	41.9%
5	三重	1,867	11,516	6	6	12	2,518	2,238	4,756	41.3%
..	全国	127,768	904,199	360	371	731	177,703	114,022	291,725	32.3%
43	新潟	2,431	16,693	3	2	5	1,533	1,227	2,760	16.5%
44	秋田	1,146	9,793	2	2	4	722	858	1,580	16.1%
45	宮崎	1,153	9,326	1	3	4	576	855	1,431	15.3%
46	愛媛	1,468	12,502	2	3	5	860	984	1,844	14.7%
47	青森	1,437	11,529	1	2	3	577	855	1,432	12.4%

人口10万対DPC関連病床数 「C÷AX100」										
1	沖縄	1,362	9,612	5	10	15	1,784	3,317	5,101	374.63
2	長崎	1,479	12,757	9	7	16	3,930	1,489	5,419	366.49
3	石川	1,174	10,662	5	8	13	2,766	1,386	4,152	353.65
4	福岡	5,050	41,502	20	24	44	10,476	5,971	16,447	325.69
5	岡山	1,957	19,188	8	5	13	4,811	1,470	6,281	320.91
..	全国	127,768	904,199	360	371	731	177,703	114,022	291,725	228.32
43	秋田	1,146	9,793	2	2	4	722	858	1,580	137.93
44	愛媛	1,468	12,502	2	3	5	860	984	1,844	125.63
45	宮崎	1,153	9,326	1	3	4	576	855	1,431	124.11
46	新潟	2,431	16,693	3	2	5	1,533	1,227	2,760	113.51
47	青森	1,437	11,529	1	2	3	577	855	1,432	99.68

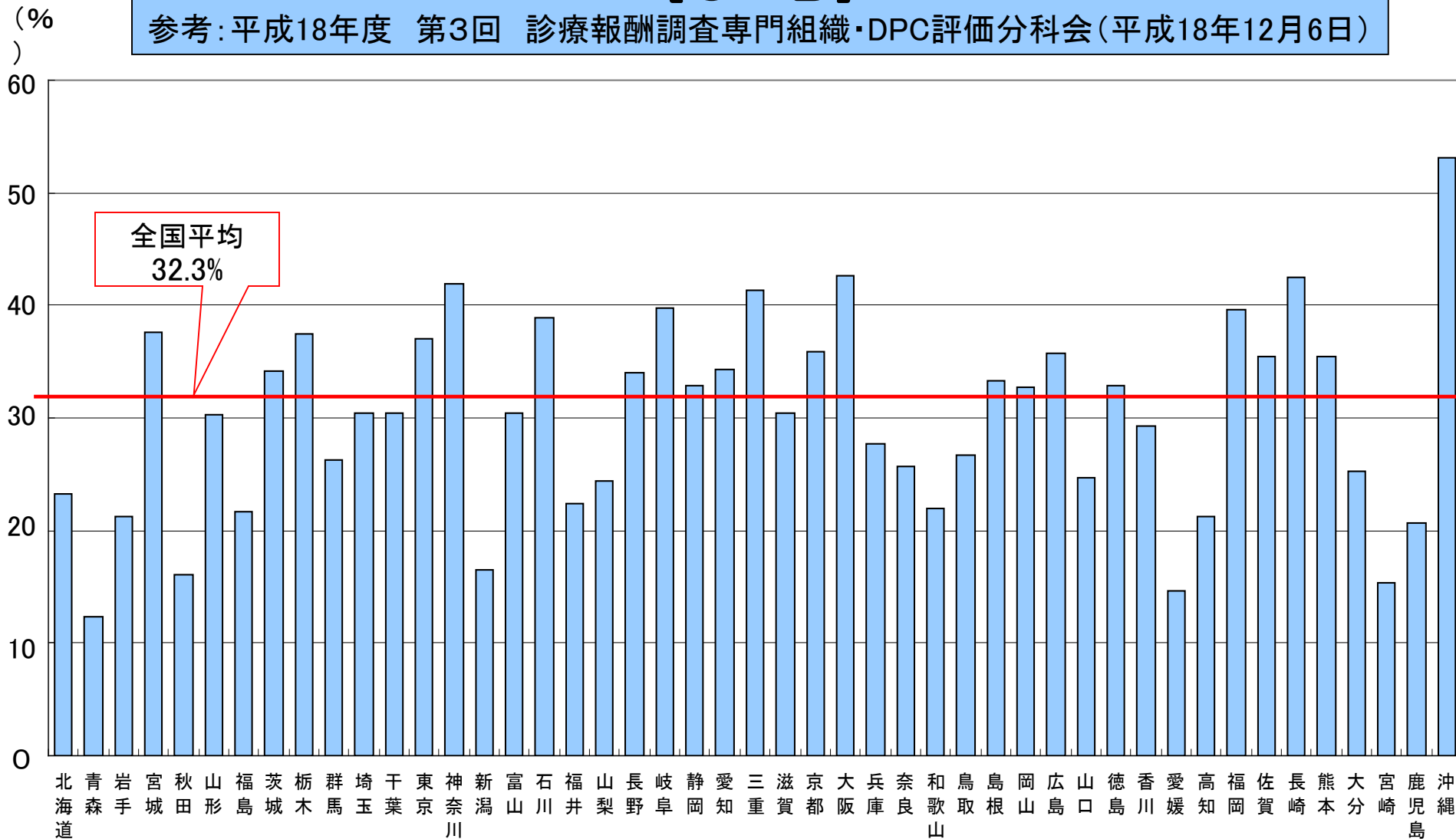
DPC関連病床数の割合は沖縄だけが50%を超えた。日医IMPSでは一般病床が60万床に再編された時点でDPC45万床（75%）と予測している。今後はDPC施設の増加と他の一般病床の減少によりDPC病床割合は75%に近づいていくと予測する。

人口10万人あたりのDPC関連病床数は、多い地域では300床台を超えたが、最終的には全国平均で350床程度まで拡大すると予測する。

DPCの動向は「西高東低」の傾向があり、特に低い地域では地域医療計画を含めた自治体の指導力も求められる。

DPC関連（対象＋準備）病床の一般病床に対する割合 [C÷B]

参考：平成18年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会（平成18年12月6日）



10万人あたりのDPC関連（対象＋準備）病床数 [C ÷ A × 100]

参考：平成18年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会（平成18年12月6日）

（床
400

350

300

250

200

150

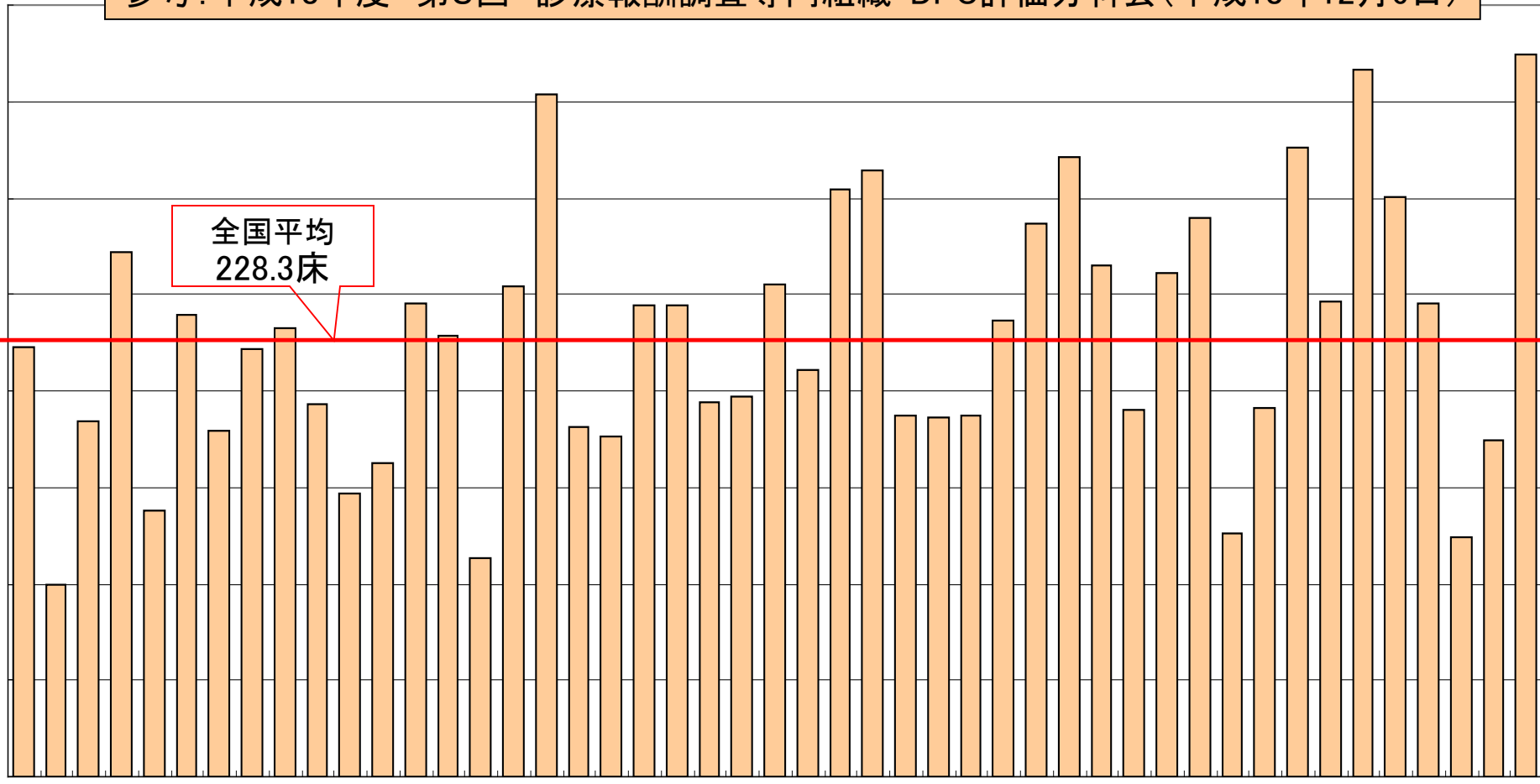
100

50

0

全国平均
228.3床

北海道 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟 富山 石川 福井 山梨 長野 岐阜 静岡 愛知 三重 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 鳥取 島根 岡山 広島 山口 徳島 香川 愛媛 高知 福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄



DPC対象病院の基準

[対象病院の施設基準]

- ①、一般病院入院基本料、特定機能病院入院基本料(一般病棟に限る。)、専門病院入院基本料について、7対1入院基本料又は10対1入院基本料に係る届出を行っていること。
ただし、現在、7対1入院基本料又は10対1入院基本料を満たしていない病院については、平成20年4月1日までに7対1入院基本料又は10対1入院基本料に係る届出を行うこととし、当該届出に係る計画を策定した場合についてはこの限りでない。
- ②、診療録管理体制加算を算定している。又は同等の診療録管理体制を有すること。
- ③、標準レセプト電算処理マスターに対応したデータの提出を含め「7月から12月までの退院患者に係る調査」に適切に参加できること。
- ④、①～③に加え、下記の基準を満たすことが望ましい。
 - ア、救命救急入院料を算定していること。
 - イ、特定集中治療室管理料を算定していること。
 - ウ、病理診断料を算定していること。
 - エ、麻酔管理料を算定していること。
 - オ、画像診断管理加算を算定していること。

DPC関連病院として算定が望ましい要件の現状

参考：平成18年度 第3回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会（平成18年12月6日）

病院類型	病院数計	各算定項目(望ましい要件)別の算定病院数&比率									
		救命救急入院料		特定集中治療室管理料		麻酔管理料		画像診断管理加算		病理診断料	
DPC対象病院	360	90	25.0%	233	64.7%	336	93.3%	325	90.3%	321	89.2%
2003年度(特定機能)	82	33	40.2%	80	97.6%	80	97.6%	82	100.0%	82	100.0%
2004年度	62	7	11.3%	33	53.2%	56	90.3%	51	82.3%	50	80.6%
2006年度	216	50	23.1%	120	55.6%	200	92.6%	192	88.9%	189	87.5%
DPC準備病院	371	41	11.1%	112	30.2%	306	82.5%	257	69.3%	240	64.7%
合計	731	131	17.9%	345	47.2%	642	87.8%	582	79.6%	561	76.7%

病院類型	算定項目(望ましい要件)数別の病院数&比率												
	0項目		1項目		2項目		3項目		4項目		5項目		合計
DPC対象病院	6	1.7%	15	4.2%	27	7.5%	75	20.8%	174	48.3%	63	17.5%	360
2003年度(特定機能)	—	0%	—	0%	—	0%	3	3.7%	47	57.3%	32	39.0%	82
2004年度	2	3.2%	4	6.5%	8	12.9%	20	32.3%	23	37.1%	5	8.1%	62
2006年度	4	1.9%	11	5.1%	19	8.8%	52	24.1%	104	48.1%	26	12.0%	216
DPC準備病院	26	7.0%	60	16.2%	77	20.8%	108	29.1%	82	22.1%	18	4.9%	371
合計	32	4.4%	75	10.3%	104	14.2%	183	25.0%	256	35.0%	81	11.1%	731

DPC対象病院として算定が「望ましい」とされた5項目の算定状況では、DPC準備病院の低さが目立つ結果となった。都道府県単位に考慮される「救命救急入院料」はともかく、今後DPC対象病院になった後の、“情報公開による競合”において『患者に選んでもらう付加価値』としてこの5項目の算定を検討する必要がある。逆に言えば、今後DPC対象病院を希望する施設は、これらの項目を整備することが、患者に“医療の質”をアピールできることになる。